

# ケアハウスって どんなところ?

# 六尾だより



※入居に際して  
ご入居に際して  
ご入居に際して



ケアハウス長寿苑は60歳以上の方が対象で、介護保険の有無に関わらずご利用できます。

居室は全て個室になっておりプライバシーも守られ、また室内には2ヶ所にナースコールが設置され緊急時の対応も安心です。そして、ケアハウス自慢の食事!!栄養士の献立によるバランスの摂れたお料理をオープンキッチンで作り、温かい食事を食べて頂いています。そして季節のイベント時には豪華なお膳を提供しております。体調が悪い時は併設している六尾診療所で診察することも可能です。介護保険のサービスが必要の方は代行申請もさせていただきます。

また施設サービスも充実しており、元気だけど認知症になり一人での生活が難しくなったら「グループホーム」寝たきりや常時介護が必要になれば「特別養護老人ホーム」など、ケアハウスでの生活が困難になっても、安心して生活が出来るようサポートをしています。今までの暮らしと同じように、生活のリズムを保ち「その人がその人らしく…」をモットーに、自然に囲まれたやさしさのあるケアハウス長寿苑。是非一度見学にお越し下さい。ただ今体験利用者を募集しております。

施設見学やご相談などの方はお気軽にお電話下さい。

お問い合わせ先は

電話 072・483・7260

ケアハウス相談員 N

特別養護老人ホーム 六尾の郷

## エンゼルカンファレンス

その人にとっての最期の時間とは？葛藤の日々

エンゼルカンファレンスとは、看取りをさせていただいた利用者様に対し、「看取りのケアがしつかり出来ていたか」「ご本人の思いはどうか」「家族の立場になって寄り添えたのか」「私たちの介護のあり方はどうだったのか」を全員で振り返り話し合う時間です。

特別養護老人ホーム六尾の郷では、「エンゼルカンファレンス」を実施しています。

エンゼルカンファレンスを行うきっかけとなったのは、3年前に私と先輩が老人施設部会主催の「看取り研修」で他の施設が実施しているのを聞き、是非自分達の施設でも取り入れたいと思った事がきっかけです。研修では「死後のカンファレンス」という名前でしたが、ケア会議にて職員一人ずつカンファレンス名の案を出し「エンゼルカンファレンス」という名前に決定しました。

## 家族様と職員の想いをひとつに

今までたくさんの利用者様をお見送りしてきましたが、今年の7月に亡くなられたA様の

「エンゼルカンファレンス」の様子をお話させて頂きます。今から約3年前にケアハウスより入所されたA様。担当職員は入社してまもないOケアワーカーが受け持つことになりました。明るく、活発でレクリエーションがとて上手なOケアワーカーは、A様や家族様と打ち解けるのも早くA様もOケアワーカーが大好き。よく面会に来て下さっていた家族様はいつも私たち職員に優しい言葉をかけてくださり「お世話さまです」「大変な仕事ですね」「よくしていただいで」等私たち職員をねぎらって下さる言葉に元氣をもらっていました。

月日を重ね段々とご飯が食べられなくなり、お話することが難しくなり看取りケアに入ったA様。家族様も毎日のように面

会に来られ、職員も日々の関わりを大切にしていきました。

次第にお話もあまり出来なくなり、お風呂や食事を摂ることも難しくなっていく。私達も何も出来ない辛い時期…

そんな中、A様の居室へ行くのとA様の今年一年のたくさんの写真が写真集として居室に飾られていました。新年行事や節分、お花見、お誕生日会、母の日の様子など笑顔いっぱいの写真を見て、とても温かい気持ちになりOケアワーカーが作ったものだとすぐに分かりました。そして、コミュニケーションノートを開くと（看取りケアに入った利用者様の日々の様子や会話したことなどを綴る家族様との交換ノートです）家族様からのメッセージが…

「Oケアワーカーを始め職員の皆様の母に対する献身的な介護をしてくださる姿を見ると心が救われます。」と書かれていました。その日その時でA様の様子は違い不安に押しつぶされそうになりながら面会に来られる家族様。職員と同じ時間を共有することで、私達の「声掛け」や「想い」が家族様の励みになっていくことを改めて感じました。

そしてA様は、大切な家族様に囲まれた中で旅立たれました。たくさんの「六尾の郷」で

の思い出と一緒に…

## エンゼルカンファレンスを通して共有する思い

エンゼルカンファレンスでは、職員一人一人の思い、利用者様との思い出等振り返りをします。新人職員からの意見は「自分はコミュニケーションを図ることは苦手だったがA様の家族様はいつも優しく声をかけてくれた。」「家族様にもっと自分から話しかけられるようになりたい」等の気持ちの変化があり、その時のことを思い出し、涙を流す職員もいました。



### 尊く大切な使命

Nケアワーカーの「長い人生の中でたくさんの方と共に過ごしてこられた利用者様の、大切な最期の時間に関わらせて頂ける私達の仕事は、尊く大切な使命を担っているのだと感じた。」と言った言葉がずっと胸に留まっています。

入社してからたくさんの方の利用者様をお見送りしてきました。その人その人にとっての最期の時間は決して同じではありません。しかし、今回のA様の看取りケアを終え、A様、家族様、そしてOケアワーカーの日頃の関わりを見て、看取りケアは特別なことではなく、施設に入所されてから、その日が来ることを意識して「今を大切にする!!」ことの大切さを感じました。

施設に入所されてから、本人様との日々の関わりがいかに大切で、家族様とのコミュニケーションが信頼関係に繋がるということを改めて感じました。入社して間もない当時の私は、看取りケアに対して、とても怖いこと“だ”と思っていました。が、たくさんの方の利用者様と関わり、その人を知っていく上で、そしてエンゼルカンファレンスで自分たちの介護を振り返っていく中で、「もっとこうすればよかった」「ああすればよかった」

「た」と言ってしまうとダメなのかもしれない。しかし看取りケア、エンゼルカンファレンスの時間を重ねていくことで「家族様と一緒に私が看取るんだ」という強い気持ちに変わったのは事実です。

看取りケアがきっかけで疎遠だった親族が再会し「大切な人を想う気持ち」を共有することで、また新しい家族関係が芽生えることもあり、「縁を結ぶ」ことも私達の役目だと感じています。

そして、私達も私達の家族を大切にしなければいけないと改めて実感する時でもあります。

### その人らしい最期を

これからも、たくさんの方の利用者様、家族様との出会いがあると思います。利用者様、家族様に「ここにきてよかった」「最期の時間をここで過ごすことが出来てよかった」と思って頂けるように、Oケアワーカーの様に利用者様の家族の想いを知り強い絆・信頼関係を築いていければと思います。

その人が生きてきた『証し』を尊重し、また利用者様・家族様の不安な想いに寄り添い、その人の最期の人生の1ページをその人らしく迎えられるようにお手伝いできればと思います。

特養 U

### ～六尾の郷 花火大会～

### トピックス

## 夕涼み会

今年も「夕涼み会」を開催し、夏の終わりに花火とビールで盛大に楽しみました。今年も職員2名が子供を連れて飛び入り参加!可愛い子供たちに利用者様も大喜びでした。

職員の「心」のこもった花火は天神祭りやりんくう花火大会よりもきれいで、花火を一心に見つめる利用者様と共に見られた「六尾の郷の花火大会」は最高の時間でした。

詳しくはブログにて掲載予定ですので楽しみに。



特養 F

ケアプランセンター六尾の郷

介護保険サービス利用の流れ

私たちケアプランセンター六尾の郷は「その人がその人らしく」住み慣れた地域で暮らしていけるように一人一人の利用者様に寄り添って支援していきます。介護のことでお困り事やご相談がありましたら、ご連絡をお待ちしております。

面接や相談



相談  
申請・更新申請  
認定調査  
要介護度の決定

ケアマネジャーが計画を作成



サービス計画変更時はあらためて詳細の説明。

私は足が悪くお風呂に入るのに不安があります。外出の機会もなく趣味のカラオケを唄えたらいいのになあ。

サービス利用後の振り返り



介護保険で利用できるサービス

- ・ホームヘルパーサービス
- ・通所介護
- ・通所リハビリ
- ・ショートステイ
- ・訪問看護
- ・訪問入浴
- ・訪問リハビリ
- ・福祉用具貸与購入
- ・住宅改修 など

サービス担当者による計画打ち合わせ



私たちケアプランセンター六尾の郷のケアマネジャーがお手伝いします

サービスの利用



お風呂に入ってカラオケを熱唱!



や利用者様のケア

私たち「あつとほーむ六尾の郷」では、毎月ケア会議を開催しています。

介護保険部長・あつとほーむ全職員が集まり利用者様に、より良いサービスを提供できることを目標に、ケース会議を実施し職員間での意見交換や勉強会を行なっています。

勉強会の内容は、司会者が3ヶ月前より、自分がやりたい事のテーマを決めて、研修の目的の構想を練り、主任・副主任へ相談しながら資料を作成し準備を行います。当日は各職員が発言できる様に、すすめています。

最近の勉強会の内容には「認知症ケアのあり方（センター方式）」  
「災害時・緊急時対応」  
「事故再発防止」などがありました。

『ケア会議』 あつとほーむ六尾の郷 ~新人だって発言できる!!~

会議では、業務や利用者様のケア

伝達研修を受けることにより、お互いが刺激となり、介護での悩みを共有し、成長できれ

ばと思います。

に取り組む中で「こうしたら良いのでは?」「家族の気持ちなどは…」など、疑問や課題に対して、意見交換や気になることとは、そのまま放置せず、お互いに提案したり、アドバイスをしながら、「何が一番良いのか?」「家族様の想いに寄り添うには、どうすれば良いのか?」を話し合っています。

「会議」と言えば、どこか身構えてしまうものですが、あつとほーむ六尾の郷のケア会議は、そんな日々の中で生まれる疑問や、課題を解決できる機会でもあり「会議」開始時は緊張していても、職員一人一人が自然に意見を出し合い、気付けばヒートアップすることもしばしば…。

また、外部研修を受けた特養職員に講師を依頼し、あつとほーむにて伝達研修を実施しています。

研修で取得した内容・ケア会議での勉強会を、日々のケアに役立てています。



あつとほーむ六尾の郷 U

朝7:30 朝食です

10:00 朝の体操



K様は六尾の郷のムードメーカーです。



皆で洗濯物をたたみましょう。

12:00 昼食です

ご飯「おまちどうさま」と厨房まで食事を一緒にもらいに行ってくれるS様。



いつも食器拭きをして下さいます。1階はS様、2階はT様

グループホーム六尾の郷の

# 1日を密着レポート

14:00 この日は手芸クラブでした



きれいなシールを貼って花瓶を作りました。

15:00 おやつタイム・入浴時間



「このおせんべい美味しいわ」とK様。



お風呂はこんな感じですよ。



17:30 待ちに待った夕食です



夕食後、寝るまでの時間はのんびり過ごします。いつも仲良しのお二人。M様、S様

21:00 そろそろ就寝時間です

おやすみなさい。



今回のテーマはデイサービスセンター六尾の郷での日常の様子や様々なレクリエーション、行事の様子をご紹介します。レクリエーションでは体や頭を動かすものやカラオケ、習字、ハガキ作りなど日により様々です。

午前中はお風呂と塗り絵など簡単な手作業をされ過ごされています。

## デイサービスセンター六尾の郷

# みんなでスマイル

### 行事の様子



お誕生日会



夏限定かき氷週間

### レクリエーションの様子



利用者様も一緒におやつ作りで団子作り



書道



ぐらぐらゲーム中に皆さんで記念撮影

季節感にあった行事や食事を楽しみにされている方も多くおられます。そしてそして、他の利用者の皆様と交流し笑顔が増えて少しでも楽しく、喜んで頂けるようこれからも楽しい行事やレクリエーションを提供していきたいと思ひます。

デイサービス U

グループホームいずみでは今年も地域交流を兼ねて七夕行事を行いました。いつもは梅雨の時期ということで雨のため、泣く泣く室内で行っていましたが、今年の七夕は数年ぶりにお天気に恵まれて、外のいずみ広場で行うことが出来ました。



それほど暑くもなくさわやかで気持ちがいい夕方でした。地域の婦人会の方や運営推進会議のメンバーに参加して頂き、いつもとは違う雰囲気の中で、少し緊張されている方、食事に集中される方、食事の次でおしゃべりに一生懸命な方など様々なひと時を過ごしました。また来年も晴れるといいですね。

グループホームいずみ T

グループホーム いずみ

## 七夕地域交流会



（サポート医）と医療・介護・福祉の専門職がチームとなり、認知症の「早期発見・早期対応」を目指して活動しています。チーム員は認知症専門医である白井病院田中敬剛医師を中心に泉南市認知症ケア研究会の作業療法士、各地域包括支援センターの認知症地域支援推進員の4名です。

泉南市にお住まいの認知症の方（疑いのある方）のご自宅を訪問して、心配なこと、困っていることなどのお話をお伺いした上で今後の対応などをご本人・ご家族と一緒に考え、必要に応じて医療・介護サービスに関する情報提供や助言を行います。

対象となる方は、40歳以上の泉南市民で、自宅で生活されており、認知症の症状などでお困りの方。

認知症のことでお悩みの方に朗報！

## 認知症の専門相談窓口ができました！

泉南市地域包括支援センター 六尾の郷

泉南市地域包括支援センター六尾の郷は今まで様々な認知症ケア推進事業に取り組んできましたが、今年度泉南市認知症初期集中支援チーム「通称オレンジチームWAO（輪を）」が発足しました。

認知症専門医

あなたの困りごとをチームでサポートできたらと思っています。些細なことでも構いません。お気軽にご相談ください。

【チーム員 1】



例えば・・・

- ・認知症疾患の診断を受けたいが、受診を拒否している
- ・医療や介護サービスを利用したいが、結びつかない
- ・認知症による症状が強く、対応に困っている など

認知症は早期発見が難しい病気のひとつですが、認知症初期集中支援チームが認知症の初期段階で関わり、適切な治療と対応をすることで認知症の進行を緩やかにし、少しでも長く住み慣れた地域でその人らしく生活を送っていただけることを目標にしています。

相談窓口は国道26号線より山側と幡代以外にお住まいの方は地域包括支援センター六尾の郷（TEL:072-484-8668）  
 国道26号線より海側と幡代にお住まいの方は地域包括支援センターなでしこりんくう（TEL:072-485-2882）  
 「もしかして認知症？」と思われたら一人で悩まずご相談を！

ホームヘルパーステーション六尾の郷

些細な事も見逃しません！

ホームヘルパーステーション六尾の郷を開設してから16年が経ちました。

訪問介護事業所としてご利用頂いている皆様に「寄り添える介護」を目指し、少しでもお力になれるようにと在宅生活のお手伝いをさせて頂いています。

その中で今回は、ホームヘルパーステーション六尾の郷の「情報共有」の取り組みをご紹介したいと思います。

私たちスタッフは、サービス提供責任者、登録ヘルパー合わせて14名で100名近い利用者様にご利用頂いています。様々なご家庭に入りサービスを提供させて頂く事で、「情報の共有」が大切な「鍵」となります。職員も勤続10年以上のベテラン、入職して数ヶ月の新



(ヒヤリハット・気づき連絡表は、サービス提供責任者が内容を確認の上、対策と結果を記入し職員が確認出来る様にします)

人職員と幅が広く視点も異なる事が有ります。そんな中で、「ヒヤリハット・気づき連絡表」「連絡事項表」が威力を発揮します。毎日の利用者様の様子や家族様からの報告やご依頼もどんな些細な事でも報告し情報を共有する事で「最新の情報を感じ取れる事」を心がけています。



毎月行うヘルパー会議で改めて最新情報の確認をします

また、利用者様の情報や変化にも迅速に対応し、担当ケアマネージャーへ報告・相談する事でより良いサービスの提供に繋がっています。

これからもホームヘルパーステーション六尾の郷は、地域の皆様に愛されるサービスを提供致します!!

ヘルパーステーション S

第20回

この仕事について  
思い出に残るエピソード

グループホーム六尾



主任 F

長寿会に勤め、2度の産休・育休を頂きました。

特養・デイを経て現在はグループホームに勤めています。

先日、特養へ行くと「あら、珍しい」と声だし、振り向くと利用者様のK様から「藤原さん、久しぶりやね。元気していた？」と声を掛けていただきました。

特養で勤めていた頃から4年の歳月を経ても、私のことを覚えてくれた事に大変嬉しく思い、日々の関わりの大切さを感じました。これからも感謝の気持ちを忘れず、利用者様や家族様との出会いを大切にしていきたいです。



副主任 N

グループホームに勤めて約2年半がたちました。その間周りの方に沢山フォローしてもらいながら今日まで来ました。

夜勤明けで着替えて帰ろうとしていると、入所者様より「お疲れ様、ありがとう」と手を振ってくださいます。その言葉で疲れも吹っ飛び、逆に元気をもらいます。

すがしい気持ちで帰宅の途につけています。「ありがとう」と言ってお下さる職業に就けている事を感謝してこれからも頑張りたいと思います。



第12回

見せます!! 私のOFFを!!

長寿会で働くスタッフをより皆さまに知っていただく好評の連載。今まで知らなかった仕事以外のあんな顔こんな顔をお見せします!

S

(ケアハウス長寿苑)

OFFの日は友人とランチに行ったり、娘とショッピングに行ったり、バレーボールの試合に行ったりと充実しています。

バレーボールは週に三回、二時間の練習で汗を流し、今年も目標にしていた全国大会に出場することができました。

仕事もバレーも日々の努力とチームワークを大切にして頑張っていきたいと思います。



ON

N

(ケアハウス長寿苑)

9月よりケアハウス長寿苑、生活相談員になりました N です。私のOFFの日は車でドライブや昔から好きなボウリングです。

本格的にプロにならい4年目、仕事のことを忘れ無我夢中で体を動かしています。

また自宅では昨年7月に産まれた長男の子育て奮闘中です。そうしてお休みの日はあっという間に終わってしまっています。



ON

OFF



OFF



OFF



掲示板

広報誌に関する感想・その他なんでも結構です。皆さまの生の声をお寄せ下さい! リアルタイムな情報はこちら

長寿会言いたい放題

検索

<http://blog.chojukai.net/>

Facebook もやっています!

[www.facebook.com/chojukai](http://www.facebook.com/chojukai)

〒590-0515 泉南市信達六尾 547 番地  
TEL.(072)483-7260 FAX.(072)483-7261

皆様のご協力  
ありがとうございました。

この度は多大なるご寄付をいただき、有難うございました。社会福祉の趣旨をご理解いただき、過分なる御厚意を頂戴致しましたことは、身にあまる光栄に存じております。

今後ますます、社会福祉活動に力を入れて行こうと固い決意を新たにす次第でございます。今後も多大なご理解・ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

社会福祉法人長寿会

理事長 飯尾弘一

編集後記

厳しい暑さも過ぎ、朝夕が過ごしやすくなってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。リオオリンピックが終わり、4年後には東京オリンピックが開催されます。「まだまだ先のこと」と今は思っていますが、あっという間に2020年の開催年になるでしょう。

4年後もドキドキとワクワクの感動を楽しみに利用者の皆様と一緒にしっかり応援したいと思えます。オリンピックの盛り上がりには負けず、長寿会では夕涼み会や敬老会などのイベントが開催され、利用者様、家族様、職員の方々の元気な笑顔を見ることができました。

これからも六尾だよりをより多くの人に読んで頂き、皆様との繋がりがより深く、身近な存在になりたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

デイサービス M

編集委員

- (ケアハウス長寿苑) N
- (泉南市地域包括支援センター六尾の郷) K
- (グループホーム六尾の郷) N
- (特別養護老人ホーム六尾の郷) U
- (あっとほーむ六尾の郷) U
- (ケアプランセンター) S
- (グループホームいすみ) T
- (デイサービスセンター六尾の郷) M